

川崎市市民ミュージアム

2024 2.18 [日] — 3.5 [火]

誕生と軌跡

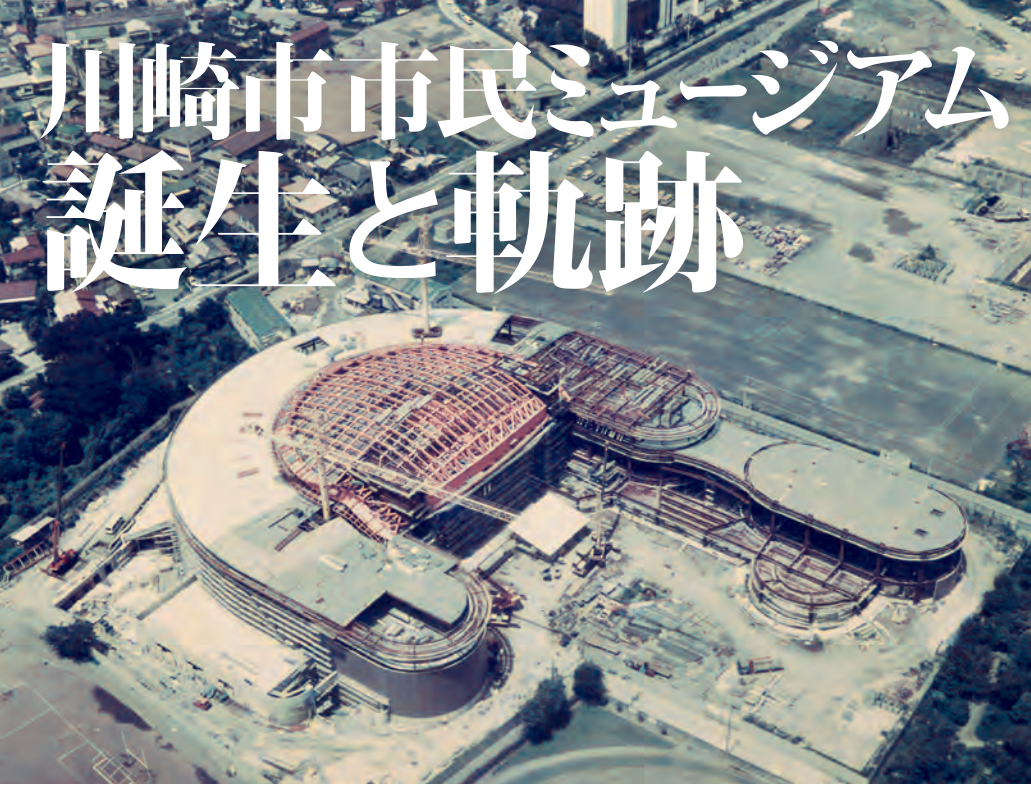
「会場」川崎市教育文化会館

「休館日」2月19日(月) 「時間」9時30分〜17時(最終入場は16時45分)
「観覧料」無料 「主催」川崎市市民ミュージアム



KAWASAKI
CITY
MUSEUM
川崎市市民ミュージアム

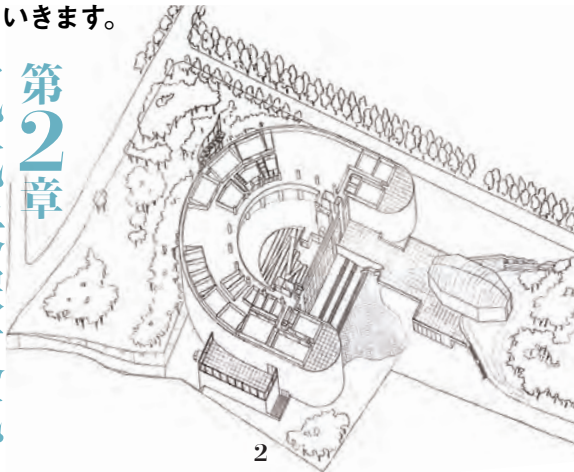
川崎市市民ミュージアム 誕生と軌跡



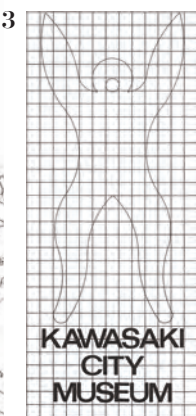
川崎市市民ミュージアムは、1988年に開館した博物館・美術館の複合施設です。写真・漫画・映画といった複製芸術を収蔵し、先駆的な取り組みを展開してきました。今回、令和元年東日本台風で被災した建物から仮施設に移ったことを機に、市民ミュージアムの歩みを回顧する展示を行うことにしました。

本展の前半では、前身の一つである産業文化会館内の博物館も含めた、市民ミュージアムの成り立ちを、主に構想と建築の面から明らかにし、後半では企画展を中心に開館以来の歩みを紹介していきます。

第2章 現代映像文化 センターとの 合築計画



第1章 川崎市立産業 文化会館



第3章 川崎市市民 ミュージアムの 建築

第4章 川崎市市民 ミュージアムの コレクションと展示

- 1 建設中の川崎市市民ミュージアム(1987年頃)
- 2 仮称川崎市博物館・現代映像文化センターアイソメ図(1985年頃)
- 3 川崎市市民ミュージアムシンボルマークデザイン(1988年)
- 4 川崎市市民ミュージアム開館告知ポスター(1988年頃)

関連イベント

1 川崎市市民ミュージアム オンラインたてものツアー



旧川崎市市民ミュージアムをオンライン上でめぐります。建築家や作家、当館学芸員が「建築」「施設」「建造物と一体化する作品」という3つの視点で紹介！ぜひご覧ください。
2024年2月16日(金) 10:00から、市民ミュージアムのWebサイトで無料配信(申込不要)

2 講演「建築家・菊竹清訓の『かた』の展開 —川崎市市民ミュージアムから読み解く—」

事前申込制

【日時】2024年2月23日(金・祝) 14:00~16:00

【会場】川崎市教育文化会館 第6・第7会議室

【定員・対象】50名(どなたでも)参加無料

【申込期間】2024年1月23日(火)~2月13日(火)

【講師】斎藤信吾氏(東京理科大学助教)

川崎市市民ミュージアムの建物について、設計者である菊竹清訓の建築作品の中で位置づけるとともに、建築としての魅力を紹介します。

3 アニメーションEMAKI マシン KAWASAKI

事前申込制

【日時】2024年2月10日(土) 11:00~16:00(途中休憩あり)

【会場】イトーヨーカドー川崎港町店2階 オレンジ広場

【申込期間】2024年1月16日(火) 10:00~1月29日(月) 16:00

詳細は市民ミュージアムのWebサイトをご覧ください。

●2.3の申込方法●

川崎市市民ミュージアムのイベントページ(<https://www.kawasaki-museum.jp/event/>)の申込フォームよりお申し込みください。



※申込多数の場合は抽選

※締切後に抽選を行い、締切日3日後までに当選者のみにご連絡いたします

●関連書籍●

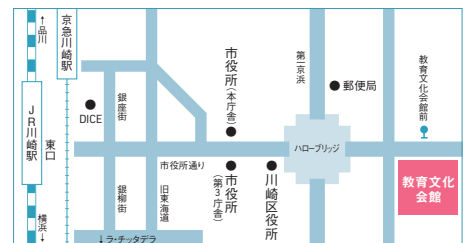
『川崎市市民ミュージアム』 販売予定価格:税込1,500円
本展に出品された主要な資料を紹介するとともに、川崎市市民ミュージアムの建築とその来歴に関する論考を収録します。会場およびオンラインショップで販売予定。

会場

川崎市教育文化会館 1階イベントホール、市民ギャラリー
〒210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-3

・JR川崎駅から徒歩約15分

・川崎駅東口空島からバスで「教育文化会館前」下車
(12番のりば)京セラ、東扇島循環、塩浜営業所前、東扇島西公園前ゆき
(14番のりば)水江町、塩浜ゆき



◆展覧会Webページ

<https://www.kawasaki-museum.jp/exhibition/28840/>



◆お問い合わせ先:川崎市市民ミュージアム

電話:044-712-2800(8:30~17:15、土日祝・年末年始除く)

FAX:044-712-2804

mail:25museum@city.kawasaki.jp

